



社会福祉法人 白陽会

2022 年 9 月 30 日発行

社会福祉法人 白陽会

〒146-0093

東京都大田区矢口 1 丁目 23-12

TEL 03-3758-1810

FAX 03-3758-1815

発行 広報委員会

《理念》 明るく 楽しく すごせる毎日

No. 49

11 年前におきた未曾有の東日本大震災、私たちの生活様式を変化させているコロナウイルス感染症など「災害」や「感染症」はいつ発生するかわかりません。どのような準備をしておけば良いのか…対策は尽きませんが、当法人の取組みについて一部ご紹介いたします。



防災

① BCP（事業継続活動）の作成

災害発生時、規模に応じて各職員がどのように行動するかを定めています。

② 防災訓練の実施

ア) 停電時対応

館内が停電することを想定した訓練。

イ) 散水訓練

館内で火災が発生したことを想定した消火訓練。

ウ) 垂直避難訓練

水害により 1 階が浸水することを想定し、建物の 2 階以上に避難する訓練。

新型コロナ対策

【ご利用者】

- ・入所前及び退院前に PCR 検査を受検していただいております。（特養）
- ・利用 3 日前から検温、利用当日の乗車前に検温を実施しています。（ショートステイ）
- ・食事中は飛沫防止の為にクリアパネルを設置。お迎え時、乗車前に検温を実施しています。（デイサービス）

【職員】

- ・マスク着用、手指の消毒の徹底。
- ・週に一回、PCR 検査を受検。
- ・PCR 検査とは別に抗原検査を実施。
- ・食事中は飛沫防止の為に、クリアパネルを設置。



防災訓練

矢口消防署から練習用の消火器をお借りして防災訓練を行いました。いざという時に困らないようにしっかり確認を行いました。



しりのご紹介



特別養護老人ホーム
ゴールデン鶴亀ホーム

風船バレー



思いっきり身体を動かして、風船バレーボールを楽しまれていました。



おやつトッピング



おやつのアイスクリームに
みなさんの好きなソースを
トッピングして召し上がって
いただきました。



納涼祭



今年はボランティアによる盆踊り
と、夏祭りの定番ヨーヨー釣りや
輪投げを楽しんでいただきました。

今回の題字



以前、他のご利用者が
題字を書いている際
「私もやってみたいわ！」
とおっしゃっていたので、
今回お願いしました。一文字ずつ
丁寧に書いてくださいました。

ゴールデン鶴亀ホーム ご利用者 H. N 様



歌の会



夏を感じる歌『茶摘み』・『七夕』・『海』とみんなで手を
動かしながら『むすんでひらいて』を唄って、楽しい
ひとときを過ごされました。

高齢者在宅サービスセンター やぐち南



お買い物



ご利用者と近くのスーパーまでお買い物に出掛けました。
自動精算機が初体験の方は、「昔はこんな機械はなかった」と話され、職員と一緒に体験していただきました。



紫陽花散策



梅雨の合間の晴れた日に紫陽花散策に出掛けました。



七夕



ご利用者と一緒に笹に飾りつけをおこない、短冊には思い
思いの願い事を書いていただきました。感染症の拡大も
あり不安な日々が続いている中、「健康」を願う方が多く
いらっしゃいました。



夏祭り



今年は、数年ぶりに「矢口踊り子連」の方に来ていただき、ご利用者の
皆さんは法被を着て盆踊りを一緒に踊られました。
汗をかくほど夢中になられ、終始笑顔で過ごされていた様子でした。



見学・サービスの利用を
ご希望の方
お気軽にお問合せください。
見学も送迎付き
高齢者在宅サービスセンター
やぐち南

☎03-5741-3322

担当：寺内・長澤





ユニフォームが新しく
なりました。

心機一転頑張ります！！

職員インタビュー

今回は入職16年目の
介護部 松課長
インタビューしました。



Q 松さんが白陽会に介護職員として入職してから15年が
経ちますね。介護職になろうと思ったきっかけは
何だったのですか。

A 昔からお年寄りとスポーツが好きだったんです。

大きくなって進路を決める際、介護職員として働くか、
スポーツクラブのインストラクターをするか

悩んだのですが、インストラクターを選択しました。

実際にスイミングスクールのインストラクターを
10年間勤め、やり切ったと思ったので、

もう一つの夢だった介護職に転職することにしました。

Q 実際に働いてみてどうでしたか。

A 最初の頃は慣れない仕事に苦戦して、

腰を痛めてしまったこともあります。

とにかく大変だったという印象があります。

Q 同僚との関係はどうでしたか。

A 最初は特に大変だったのですが、悪戦苦闘しながらも

チームワークが良かったことで乗り切ることが

できました(笑)。

Q その後、ケアマネージャーに異動されていますが
ケアマネのお仕事はどうでしたか。

A とにかくご利用者様、ご家族様の役に立ちたい
という思いで一生懸命に働きました。

改めて振り返っても、お役に立てたんじゃない
かなと胸を張れる思いです。

Q ケアマネージャーを経験することで

成長できたと思いますか。

A 当然のことですが、職種が変われば見える景色も

変わります。ケアマネだからこそ得たものも多
くあると思います。ケアプランを作成すること

で、介護職の時以上にご利用者様にとって最適
なプランは何なのかと追及していったことは、

大きな経験になったと思います。

Q 6年間のケアマネージャーを経て再び介護職に

異動となりました。今度は施設長の下で

施設全体を統括するポジションになりました
が、施設をどのようにしていきたいと考えて

いますか。

A 抽象的になりますが、すべての職員が「他のどの
施設より鶴亀ホームが一番いい」と心から自信

をもって言えるような施設にしたいと考えてい
ます。そのために、これまで自分が経験してき

たことや考えてきたこと、利用者様やご家族様
への想いを後輩に引き継いでいきたいと考えて

います。もちろん、私自身もこれまで以上に成
長できるように、勉強し続けていくつもり

です。

がんになっても自分らしい人生を過ごすために

ACP(人生会議)について聞いた事がありますか？

このACP「人生会議」とは、もしもの時のために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族や
医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組の事です。

日本でコロナ陽性者が初めて確認されたが 2022 年 1 月。未だに感染者が後を絶たず、入院や施設に入所
しても面会制限により、本人と対面出来ない状況が続いています。「本人が治療をどうしたいのか」「最後の時
をどう過ごしたいのか」という事を確認するすべがなく、介護者の方やその家族の方がどうすれば良いのかと
悩まれ、相談に見える方が増えてきているのが現状です。

【詳しくはこちらまでご相談ください】

地域包括支援センター やぐち

☎ 03-5741-3388